

ねん ど だ い かい し ずお か し が い こ く じ ん じ ゅ う み ん こ ん わ かい かい ぎ ろ く
2011年度 第4回 静岡市外国人住民懇話会会議録

- 1 日時 平成24年3月2日(金) 19:00~20:30
- 2 場所 静岡市クリエイター支援センター1階 第2会議室
- 3 出席者 外国人住民懇話会委員9名
王川 絹子、上地 セシリア 恵美子、
コルベイ スティーブ、ズリア エルマワティ、
ノウオッド スレッシュ、朴 政浩、
樋熊 アメリア、関 俊哲、マハラジャン ディリブ
事務局6名、静岡市国際交流協会1名

4 次第

- (1) 開会
(2) 磐田市多文化共生社会推進協議会の視察報告
(3) 意見交換
(4) 事務連絡
(5) 閉会

5 会議内容

コルベイ会長

これまでの会議の中で、防災、交通ルール、子育て、この3つのテーマはよく取り上げられていますが、この3つについて新しい意見と、磐田市の視察を通して、新しい考えがありましたら、意見を出してください。例えば、磐田市の推進プランを見せてもらいましたが、子育て重点施策について、5年の到達目標1、2、3とありまして、外国人の保護者が学校行事に参加している、外国人の保護者が学校教育について理解している、外国人の保護者も教育に関する興味が高い、という3つについてどうですか。静岡市は達成しているとか、まだ到達していない場合はどうすればいいのか。子供がいらっしゃる方、副会長はどうですか。

かみじふくかいちょう 上地副会長

現在の学校の連絡網は、学校からメールで発信してくるものなので、昔と比べて便利になってきたのですが、メールは日本語だけです。読める人はいいのですが、読めない人は結構大変だと思います。知り合いのブラジルの方が日本語を読めないから、学校の先生から直接電話をかけて説明するらしいです。そういうやり方もいいと思いますが、全ての学校にそれをお願いするのは難しいと思います。昔は連絡網をもらって順番に連絡を回して伝えていたのですが、個人情報の問題などがありまして、今は学校から一斉にメールで発信されています。全部日本語ですが、学校の行事のこととか、不審者情報とかが送られてきます。

かいちょう コルベイ会長

日本語の問題は今までも出てきています。磐田市のプランを見ると、外国人保護者の学校行事へ積極的に参加するためには、言葉の壁を乗り越えなくてはなりませんね。

かみじふくかいちょう 上地副会長

小学校になると、PTAなどの役員があります。6年間通いますから、1回くらいはやって欲しいと言われますので、そこも一つの分かれ道です。自分が参加するか、私は日本語ができないからできませんという人もいるし、役員があることを全く知らない人もいるし、だからそれをどういう風に上手く皆に伝えて、もう少し積極的に参加できるようにするのか、考えていかないといけません。

ひぐまいいん 樋熊委員

私の場合は、子供が小学校2年生の頃からシングルマザーでしたので、日本語がほとんど読めず、時間がないので勉強もできなかったです。しかし、周りの先生たちが私の生活を理解してくれて、先生たちも英語ができたからここまでやってくることができました。子供が小学校の時は、先生が英語で連絡を取ってくれました。中学校、高校になると、子供本人が日本語ができるので、子供から学校の連絡を聞いていました。私の場合は、たまたま先生たちが英語ができたから助かったけれど、私のような日本語の読めないシングルマザーに対して、何とかして欲しいです。英語圏の方には英語でお知らせを提供するなど。

かみじふくかいちょう 上地副会長

英語じゃなくても、やさしい日本語だと分かりやすいと思います。

ひぐまいいん 樋熊委員

私もやさしい言葉は日本語で聞いて、難しい言葉は英語にしてもらいました。

コルベイ会長

今の解決方法は、外国人の子供が少ない場合は何とかありますが、もし増えた場合、一人一人英語に翻訳したり、個別に電話をしたりすると、教師の負担も増えてしまいます。磐田市の多文化共生プランを見て疑問に思ったのですが、市は教育委員会との連携がありますか。例えば、市の提案で教育委員会が教育現場に影響を与えられるかどうかをお聞きしたいのですが。

事務局（近藤主任主事）

市は小学校、中学校の義務教育、それから、3つの高校を持っています。その範囲では、市は教育委員会と繋がっています。

コルベイ会長

我々の提案も伝えられますよね。

事務局（近藤主任主事）

先程の連絡やメールが日本語だけという話ですが、今多言語化しようという動きが教育委員会の中にあります。

事務局（山梨主査）

決まった文章だけ多言語で登録しておいて、その文章を使うというやり方です。

事務局（近藤主任主事）

例えば、「今日は台風なので学校は休みです。」とか「インフルエンザで学級閉鎖です。」など。決まった文章を多言語化して情報提供をします。

事務局（山梨主査）

決まった文章を各言語にしています。今年度翻訳したので、来年度以降実施されていくと思います。

事務局（スミス国際交流員）

保護者はインターネットでアドレス登録をして、多言語の情報を受け取ることができます。

コルベイ会長

幼稚園は義務教育ではないので、そういう制度はないですね。

事務局（山梨主査）

むしろ保育園や幼稚園の方が連絡を取りにくいと思います。そういう話を国際課でも聞くことが多いかも知れません。

コルベイ会長

例えば、義務教育より幼稚園、保育園に力を入れた方がいいのかも知れませんね。市の現状はできていますか。

事務局（山梨主査）

今、市はできていない状況です。

事務局（スミス国際交流員）

今はできていませんが、今日のニュースで、2015年度から、国が総合子ども園に関する制度を決めていたので、保育園と幼稚園がどこまで義務教育になるかは分かりませんが、変わると思います。

コルベイ会長

例えば、日本語ができる外国人は、学校の行事に参加できるのでしょうか。外国人でも日本語ができたなら、平等に学校行事に参加できるかどうか、聞きたいです。

上地副会長

個人に拠ります。昼間の行事でしたら、仕事を優先してしまいますので、なかなか外国人の方はお見えになりません。運動会とか、土曜日、日曜日でしたら、家族で来られる人も多いです。保護者会とか、そういう時には、仕事をしている人はなかなか来ないと思います。これはブラジル人の場合ですが。

コルベイ会長

義務教育ではないのですが、他の県でも学校に登校しない外国人が多く問題になっています。静岡市の場合はどうですか。

王川委員

静岡市の教育委員会は、外国人児童に対して、言葉と適応相談の2つの支援があります。言葉の支援は、何か所か日本語を教える場所があります。適応相談は、英語、中国語で行っていき、要請があれば学校に行き、保護者や子供に支援を行っています。私は中国語担当ですが、問題として感じたのは、日本に来たばかりの外国人の保護者たちは、日本の教育制度への理解が足りなくて、教育に対しての不満やストレスを感じています。子供

の問題としては、最初に言葉の問題がありますが、時間をかけるとほとんど言葉の問題は感じませんでした。やはり、日本に来たばかりの中国人の保護者たちは、日本の教育制度への理解が足りなくて問題だと感じました。問題がある所は今支援をしています。

先程おっしゃった外国人保護者が学校行事に自由に参加できるかどうかですが、私の子育ての経験から見ると、学校側もPTA側もぜひ参加してくださいという雰囲気でした。反対に、外国人の保護者たちの方が、言葉ができないから不安があったり、仕事が忙しくて参加しなかったり、外国人側があまり熱心な方がいないと感じます。学校側としてはぜひ積極的に参加してほしいという感じがします。

コルベイ会長

つまり問題点として、教育制度を十分に理解できていないということですね。

王川委員

外国人保護者たち、もちろん言葉の問題もありますが、日本の教育制度への理解の問題も共通の問題だと感じています。

関委員

例えば、クラスに違う国の外国人の子供が3人位いて、先生は英語が分かるけど、保護者は自分の国の言葉しか分からない場合、担任の先生が保護者に連絡する時はどうしますか。

王川委員

今は日本語で同じメールを送っていると思います。来年度以降は多言語で送ると思います。

関委員

多言語で送るとしても、学校の先生はその都度メールを市役所の国際課に送って、翻訳してもらうのですか。

事務局（近藤）

学校で登録をしてもらって、学校が日時や数字を入れれば、文章が作れます。決まった文章の場合です。

関委員

決まった文章以外の場合が困ると思います。例えば、我々懇話会の委員が任期2年間でメール登録をして、先生とやり取りできるようにすれば、文章を訳して多言語のメールが送れるようになると思います。例えば国際課を中心として、先生がこの文章をベトナム語に

翻訳したいと国際課に依頼して、国際課から懇話会の委員にメールを送り、翻訳をお願いするというような形でもいいと思います。小学校の先生で、英語や中国語や他の言語ができる人はそんなにいませんし、学校から保護者に連絡する時は、決まった文章だけではないと思うので、その辺りの解決策が必要ではないでしょうか。

王川委員

学校からのメールは緊急時のみ送られてきます。私が子育てをした時は、メールはなく連絡網でした。メールは最近ですが、緊急の連絡は決まっている文章がほとんどです。文章をその都度翻訳すると時間もかかるし、保護者にすぐに連絡が届かないですね。難しいと思います。

上地副会長

私に届くメールは、「不審者がいました。」「学校の行事がありますので何日の何時から保護者の方は持ち物を準備してください。」などです。私が翻訳した文章と全く変わりがなかったです。

関委員

例えば、外国人の子供が学校での素行があまりよくない場合はどうしますか。

王川委員

別の支援があります。学校が親と連絡を取れない場合は、教育委員会を通して、通訳を交えた三者面談のシステムがあります。

ディリブ委員

メールを全部ひらがなで送るといいと思います。中国人なら漢字は読めますが、他の外国人に漢字は難しいと思いますので。漢字で文章がくると読めませんが、ひらがなを読める外国人は結構多いので、ひらがな、漢字でもふりがながあると読みやすいです。

上地副会長

やさしい日本語が一番いいですね。

スレッシュ委員

私の子供は3歳になります。前は子育てなどに不安がありましたが、今は段々自分たちよりも日本語が上手になってきて不安は感じないですね。リーダー役としてやっていけるだろうと感じています。教育問題について、この間ある家族に会いまして、その子供は幼稚園にこれから入るのですが、家の中でペンとか紙を何にもあげず、自由に描かせない

らしいのです。というのは、ペンを渡すと壁に描いてしまうかららしいです。何故何にもあげないのか聞いてみると、学校へ行けば描けるからだそうです。そういう考え方は家族によって違いますね。ペンをあげたら、紙も必ず一緒にあげるといふ風になれば、自分たちの経験からも、子供は変な所に落書きをしません。子供が自分のペンを持ったら、紙もあげる。そうすれば、子供も紙の上に描くということを理解して学んでいきます。うちの子供たちは壁には描きません。そういう教育は親がしていかないといけないです。いくら周りがいろんな情報を配っても、何も意味がないですね。親も子供も自分たちで勉強しながら、いろんな人間と接していかないと、日本でも日本以外の所でもやっていけないと思います。

かみじふくかいちよう
上地副会長

ほごしおききょういく
保護者の教育ですね。

スレッシュいじん
スレッシュ委員

そうです。いくら助けてもらっても、結局は親しかいないのです。教育委員会がやっても、最初の親がそういう教育をしていかないと何にも意味がないのです。

かいちよう
コルベイ会長

人によって教育に対する考え方は全然違いますね。学校行事に十分参加しているかどうか、イベントに参加しているだけではなく、自分の考え方が異なる時にはその意見が尊重されているか、教育への考え方の違いが影響を与えるか、それぞれの国で教育のやり方は違うので日本に来て不安や不満があるかもしれないですし、それを伝えられる場所があるかどうかですね。

びんいじん
関委員

個人の性格もあると思うし、間違いもあるだろうし、子供が社会に出るまで教育に関しては分からないですね。

かいちよう
コルベイ会長

例えば、磐田市の防災訓練に対する5年の到達目標は4つあります。「1. やさしい日本語を含めた多言語で防災情報や災害時の情報が提供されている。」について、静岡市は達成できていて問題ないと思います。「2. 外国市民が災害に備えて準備をしている。」について、これはまだですね。「3. 外国人市民が積極的に地域の防災訓練に参加している。」これも課題ですね。「4. 外国人市民と日本人市民が災害時に助け合える顔の見える関係になっている。」について、磐田市の目標ですが、これらの点についてどう思いますか。

朴委員

災害時に日本人との連携ができるかどうかについてですが、日本人自体が同じマンションに住んでいる隣人の顔も分からず、横の連携が弱まっている状況で、外国人と日本人では尚更無理だと思っています。みなさんも、それは生活の中で感じていると思います。横との繋がりが希薄であり、挨拶もしないレベルなのに、何か起きた時に力を合わせられないと思います。一年前の震源地は東北だったから、隣近所をよく知っていて、小さい時からよく分かっているという構図が、他の地域よりも良かったという話です。静岡市は中途半端な都会で中途半端な田舎ですので、正直難しいでしょう。先程、親がしっかりしないといけないという話がありましたが、何か災害が起きた時には、行政に頼ったりとか、自治会に頼ったりというのは、3、4日後の話になりますので、3日間くらいは自力で何とかしないとイケない訳です。隣近所に誰かいればそれはいいことですが、大前提として頼ってはいけません。災害が起こり、ガス・水道・電気のライフラインが復旧するまでは何とか自分でやらないとイケないです。その時には、日本人、外国人ではなくて、一つの町内で協力するべきです。磐田市の自治会は熱心で積極的らしいですが、世話を焼く人が多い場合はいいのです。東京では他の人に干渉すると、大変なことになってしまいますね。その様なニュアンスが静岡市に関しても強いでしょう。コミュニティを形成するのは、静岡市の中でも郊外の方が強くて、繁華街、都市部、新興住宅地、マンションなどは弱いと思います。

スレッシュ委員

瀬名の市営住宅に住んでいて、その中にはお年寄りもいますが、やっぱり声を掛けてくれます。助け合いがあるし、子供が病気になったらすぐ言ってくれる、年配の方は優しいです。そこから外に出ると、難しいです。

朴委員

瀬名のコミュニティや皆さんも自治会があるでしょうけど、自治会など地域を大事にするのは昔の話です。日本でいうと隣組とかそういう制度があって、鍵もかけなくてよかったのは明治時代、大正時代、昭和初期までです。そういう時代のコミュニティには戻らないですね。他の人と連携するというのは口で言う程簡単ではないです。最近では、皆さんインターネットをやっていますが、インターネットは災害があった時に潰れてしまいます。そういう時は、電子的なものを当てにすることはイケないので、結局自分の手と足しか信じられません。みなさんも家族を守ることで精一杯でしょう。

スレッシュ委員

静岡市は恵まれていると思います。この前、家族と横浜へ遊びに行って電車に乗りましたが、奥さんは今妊娠してお腹が大きいのに、シルバーシートの前に立っても誰も関心

がないです。よく人助けと言いますが、顔を見ても、お腹を見ても平気で座っていました。

朴委員

人に抛りますけど、やっぱり都会の人間というのは、職場の人間だけ、友達だけ、それ以外の人に対しては排他的です。

スレッシュ委員

都会の人間は冷たいなと実感しました。

朴委員

知り合っしまえばそんなことはないですが、先程も述べた通り、どうしても横の連絡が希薄なものだから、毎日会っていれば関係も濃くなりますが、親戚でも10年会わなければよそよそしいです。それと同じです。この外国人住民懇話会も、3か月に1回では弱いと私は感じています。毎月とは言わなくても、せめて2か月に1回くらいに増やしていただければ、お互いの意見がより出やすいと思います。人とコミュニケーションを取る時に、日本人は本音と建て前というものがあると思いますが、私たち外国人は少ないですね。むしろ付き合いが浅ければ浅いほど、本音が出がちです。この懇話会の中で、もう少しコミュニケーションを取るのであれば、頻度を増やした方が意見の交換はもっと芯のあるものになるのかなと思います。毎回、同じような話から入口が始まってしまうので、大変もったいないです。もう少し深さがあるような話を出せるはずですが、どうしてもギャップがあるので、もったいないと思います。

関係あるかどうかは分かりませんが、私は在日であって永住者です。死ぬまで日本にいるつもりですが、懇話会の中のメンバーで、母国に帰る方もいるだろうし、あるいは日本に帰化する方もいるだろうし、日本でお墓に入るといふ方もいるだろうし、そうした人たちの間で考え方や受け取り方とか違うのかなとも感じます。そういう所も気になるのですが、会長は日本にずっといますか。

コルベイ会長

いるつもりです。私でよければ。

朴委員

関さんはどうですか。

関委員

帰るかもしれません。

朴委員

立場がみんな違うから、そういうギャップも面白いですね。

関委員

立場が違って我々が求められるのは、外国人の生活に役に立つ提案です。日本人も防災をやらなくてはならないし、教育に関しても当然やらなくてはならないことです。シングルマザーの問題にしても、外国人特有の問題点を、我々にしか分からない問題をどうやって一番早いルートで解決するか、そういう議論を行い提案していかないといけないです。日本人の問題と一緒にしてしまうと、それは結局、市役所に頼んでやってもらうということになり、防災のことで外国人に対する施策は何にも出てこないです。防災は言われなくても行政がやるべき仕事ですから。我々は、外国人に対してどうすればいいのか、そういう話に集中した方がいいです。

朴委員

私が言っているのはその前の話で、防災というのは枝の話であり、最初の幹となるスタートの部分は、個人の危機感が違うということに繋がってきます。

関委員

外国人も、日本に1年住む人もいるだろうし、お墓に入る人もいるだろうし、10年住んでまた戻る人もいるだろうし、様々です。その中でも、例えば子供がいる時はどういう風にやればいいとか、困っている外国人に対しての対策を我々は話し合わなくてははいけないのです。

王川委員

現実、現実として。

関委員

現実には他人が冷たいなんてことは誰でも知っています。

王川委員

だからこそ、私たちが外国人住民懇話会は、外国人を守るために意識して進めなくてははいけません。

関委員

外国人の問題を見つけず、方策を議論しないでしたら、懇話会が終わったら終わりとなる

ってしまい、意味がないです。

コルベイ会長

私は、ずっと日本にいる外国人は、家族もいますし、友達もいますし、多くの方は日本語もできますので、基本的に私たちの会議はその人達にとってはいらぬと思ひます。その人達は十分日本の社会に参加もしてありますので。

朴委員

意外とそうでもないですよ。

コルベイ会長

例えば防災訓練の場合は、留学生や短期的に日本にきた人に対して、一番力を入れた方がいいと思ひます。そうじゃないと、日本人同士も近所の人を知らないとか、家族を守らなくてはいけないとか、そういう議論になりますね。やはり、誰も知っている人がいない外国人のための特別な防災訓練を行った方がいいと思ひます。特に今の大学生で1年間しか日本にいない人は防災訓練をしなくてもいい、1年間何も悪いことが起こらなければいいと思ひている方が多いと思ひます。そして、大学の場合は大学向けの防災訓練しか行われていません。授業中に地震が起こったらそこへ行くという訓練です。しかし、宿舎や一人で住んでいるアパートで地震が起こったら、その留学生はどうすればいいのか分からないでしょう。日本に1か月前にきた人のための防災訓練は今のところないです。ですから、留学生向けの防災訓練も義務付けはできないですから、メリットを付けて参加してもらうのはどうでしょうか。他のイベントとつながってやるとか。以前、ブラジルの方のための防災訓練が行われていました。それは確かにとてもいいことだと思ひますが、留学生や短期間の人のための防災訓練が必要だと私は考へます。私も自治会の防災訓練に参加したことがあります。正直に言う、あまり意味が分からなかったです。日本語はわかりますけど、災害の危機感を感じなかつたし、遊びっぽいとかロールプレイっぽい所があるなと感ひしました。文化の問題かもしれませんが。

朴委員

全然そんなことないです。僕の友人も防災訓練を学校でやっていたり、やらされたりしていますが、みんな意味が分からないと言ひます。大体わいわいしながらやって、真面目に取り組まぬです。ただ、いざ何か起きて集団で逃げましようという時は、やっておいた方が慣れとして動けるらしいです。そういう意味でも防災訓練に意味はあるのだなと思ひます。

コルベイ会長

例えば小学生の場合は、防災訓練を毎年6年間繰り返しやっているから、それは習慣になっ
ていてすごくいいと思いますが、外国人の場合は1回しかやらない人が多いので、その人
たちのためにさらに一般化させるとか、あとは無理やり参加にはできないですが、も
っとアピールして、日本語学校や大学にも声をかけて、短期間だけ日本にいる外国人を対
象にした特別な防災訓練を行った方がいいと思います。小さい時から防災訓練をやっている
人より、本当に慣れていない、短い滞在だからと油断している人にこそ必要だと思います。

朴委員

外国人を主体にしてやった方がいいと私も思います。静岡市に住んでいる私の友達から
聞きますが、自治会が強い地域は防災訓練を自発的にやるらしいです。ただ、みんな嫌で出
たくないというのが本音です。後は集合住宅とか繋がり
の弱い自治会では一切ないし、繋
がり
の強い自治会の中
でも防災訓練に参加して
いない人も多くいます。ですから、どうや
って日本に来てまだ何もわからない外国人に呼びかけて、参加させるかということが課題
だと思います。私も、学校毎とか外国人が多くいる企業毎にアナウンスをして、できるだ
けそういう方たちのために防災の啓発をしていくというのには賛成です。

コルベイ会長

それは本当に具体的な提案になると思います。私は、外国人の中で一番立場が弱いのが、
日本に来たばかりの方、短期滞在の方だ
と思います。その人たちへのプランを立てた方が
いいと思います。確かに日本人でも、防災訓練にしっかり参加して
いない人もいますが、
その人たちは自治会で頑張
って
いなくても、義務教育で行
えています。ですから、防災に
対するニュースに受け身でも受け入れられると思
います。しかし、来たばかりの外国人は
防災訓練の経験もゼロ
ですし、危機感もない
ですし、自分自身でそんな
に長い期間いない
からと油断している
から、防災訓練に参加
することが必要だと思
います。例えば、大学、
日本語学校、企業の協
力を求めて、9月とか留
学生の多い時期に1日
防災訓練の日を設
けて、外国人は半日お休
みしていいとか、参加
したら防災グッズを
あげるとかにする
といい
と思います。企業や大学
でも今年
は外国人が何人参加
したとか、参加人数の
数字を出して、
去年より参加の少
ない大学にはプレッ
シャーをかける
など、しっかりした
体制で短期滞在
の外国人のために
頑張った方がいい
と思います。

朴委員

よく分かります。それだけの強制力が欲しいです。日本の行政で外国人のためにこれ
くらいやりましようということがあってもいいと思いますが、なかなか行政ではできない
のが実情です。先例がないからできないとか、言い訳が多いのは、他県など他の自治体の目
もあって、日本人特有のあまり自立した行動をしたくないということからですね。ですか

ら、そこを打破するくらいの心を持った日本人の方と僕らが仲良くならなければいけないと正直思います。

コルベイ会長

私の意見は少し違います。今の行政や市役所は外国人のために何とかしたいと思っています。私は数値を出せば、学校等いろんな団体が動くと思います。例えば、A日本語学校は10%の外国人の参加率だったなど、データが出てくると人は動きます。自分の学校の生徒のために頑張っている学校とか、100%全員が参加している学校とか、それは後でその学校のアピールポイントになります。だから、具体的にないと誰も動かないと思います。しかし、日本の社会を見ると、数字やデータを出すと動きますし、具体的な方法になりますが、何か物をあげたりすると参加者も増えるのではないかと思います。今はこの日に防災訓練をやりますので来たい人は来てくださいという感じですが、例えば毎年同じ日に防災訓練があると、外国人のための防災訓練の日にして、長期的にデータを集めたりすると、私は日本の学校の人でも、外国人でも留学生でも動くと思います。

エルマワティ委員

それは外国人をどこか1か所に集めて防災訓練を行い、物をあげたりするというのですか。実は、留学生としては防災訓練を各学校1年間1回だけやっています。しかし、今心配しているのは、学校ではなくて家にいる時に災害が起こった場合はどうすればいいのかという問題です。しかし、私は今、自治会があることを全然感じていません。いつも学校生活をしているので、何かあったら先生に相談しますし、学校の人に聞いて解決しているので、自治会とか周りに住んでいる人にもあまり相談はしません。もし、どこか1か所で外国人の防災訓練を行った場合は、学校と全く同じだと思います。もし家で災害が起こったら、どうすればいいのか対応できなくなってしまう。やっぱり1つの場所でまとめてやるのではなく、各地域、住んでいる所でやった方が役に立つのではないかと思います。

コルベイ会長

例えば、同じ市でも1つの場所ではなくて、自分の家の隣ではなくても、葬区1か所とかで集まるのはどうでしょうか。当然学校で行われている防災訓練はそのまま必要だと思います。しかし災害に遭う時は、家にいる時、レストランにいる時などいろいろな場合がありますから。

エルマワティ委員

どこに避難すればいいのか未だに分からないです。

コルベイ会長

そうですね。私が考えていることと結構近いと思いますが、自治会でやりたい外国人も参加できるし、もっと広い範囲の、学校にいないで家にいる時、駅にいる時、歩いている時に災害が起こったらどうすればいいか、自分の家で何の準備をすればいいかなどは、大学では自分のアパートでの話はしないと思いますので、1つの場所でやってもいいと思います。例えば市役所の方がやる防災訓練の場合は、しっかりプリントがあって、水何本とか防災バックには何を入れたらいいとか書いてあって、後で自分の家で準備ができますから、問題ないと思います。後は地域で、葵区とか駿河区で、幅広く、例えば駿河区はこちらとこちらに避難できるとか、家にいない場合は、自分の家の近くのスーパーにいる可能性が高いし、だからもう少し幅広い防災訓練があったらいいかなと思います。もちろん自治会の防災訓練も自由に参加できます。だから、外国人のための幅広い訓練、例えば家と学校以外のところにいる場合にどうしたらいいか、家で何を準備したらいいかとか、義務じゃないけど、総合的な防災訓練があるといいです。それでしたら、自治会が熱心であるかそうでないかという問題もなく、外国人だったらみんな同じ情報を持っているという風になりますし、学校や企業にも頑張っている所とそうでない所がありますので、同じことが言えると思います。ですから、スタンダードとして短期でも長期でも、静岡の外国人の住民がみんな同じ地域を持っている、そういう地域を持ったらそれは安心です。

関委員

自分の住んでいる周りに高いビルがあるか確認して逃げる場所を確保するとか、情報はなかなか手に入らない場合もあるから、まずは自分で逃げる場所を確保して、後は自分で何とかしなければならぬ。訓練は、自分の意思を高めるのに必要だと思いますので、やっぱり海拔の低い家は、避難場所の確認が必要だと思います。市としては避難できる場所が大体分かれば、方が一災害が起きた時にここに逃げれば大丈夫とか安心して生活できればいいと思います。外国人住民は、例えば日本語学校、大学や企業で必ず防災訓練を行っているので、1、2回は大体みんな参加しています。それ以上の参加が必要であるかは個人が判断してやってもいいのではないかと思います。例えば、シングルマザーの方とか、引越して来られる方たちは、自治会に参加しないと他の所に参加しないだろうし、そのような場合は、どのようにして対策するか、呼びかけて参加させる方法を作った方がいいのではないのでしょうか。

コルベイ会長

特に外国人で来たばかりの人は、基礎の知識でさえ持っていないので。

関委員

日本に来た外国人はどのような目的で来たのか、それをまず知った方がいいですね。結婚

して来たか、語学を習いに来たのか、色んなパターンがあると思います。色んなパターンにどのように対応していくか、それを考えていかななくてはいけないと思います。

ディリブ委員

外国人登録窓口は、外国人の色んな情報を持っていると思いますので、その人たちにプレッシャーをかけて、そこから調べた方がいいと思います。外国人には訓練ばかりではなくて、時間がある時にどうやって逃げるかとかそういうことを、周りの状況と照らし合わせて教えていけばいいと思います。

王川委員

街に海拔何メートルという看板が増えてきました。何か月前は何もなかったですが、今はどこでもあります。でも外国人が見ているかどうか、防災に対しても意識を高めること、会長さんがおっしゃったように訓練するなど、そういうことに対して意識を高めることが一番大事です。学校だけではなくて、家あるいは他のところへ行った時に分からないですよ。防災の水をちゃんと用意してあるか、リュックサックを車の中に用意したり、玄関に用意したりとか、やはりそういった意識を高めることが一番大事ですね。

関委員

私も地震が起きる前は、地震が起きれば何とかかなるでしょうと思っていましたが、今回大震災が起きた後は、水はトイレ、部屋の各部屋に置いて確保していますが、それは意識が変わったということなのでしょうね。

上地副会長

ほとんどの外国人が、去年の津波の後、意識が変わったと思います。

コルベイ会長

長期の人はいろいろ分かっているけれど、短期の人の場合、本当は危険なことなのに知識がないから、地震があったらすぐ家を出る人もいます。そういった行動は、日本語学校はどうなのか分かりませんが、大学の場合は、やはり日本人向けの防災訓練なので、いきなり「建物出ないでください。」とは言わないですよ、もう当たり前のことだから。それが例えば静岡大学に1年間留学する人が、全く分からないまま普通に防災訓練をして、看板の海拔何メートル等、わざわざ大学は説明しないですよ。でもそれは誰かが説明しないと。好奇心がある人は「これは何ですか。」と聞くと思うのですが。

上地副会長

1回の授業の中に入れられないのですか。

コルベイ会長

私は外国人向けの授業を取ったことがないのでわかりませんが、その可能性はあるかも知れないですね。

ディリブ委員

大学で日本語の授業が必ずありますよね。その時に外国人の防災の授業をやって欲しいと頼めば取り入れてくれるのではないかと思います。外国人が強制的に取らなければいけない授業が各大学に必ずあるので、それが一番早いと思いますね。

上地副会長

やっているのとやっていないのでは違いますよね。

コルベイ会長

大学でやっている、やっていない、またどこまでやっているのかは分からないので、みんな同じ事をした方が安心です。

朴委員

会長の言う通り、ニューカマーの方が来てすぐに分かるようにしなければいけないという事がすごく大切ですよ。海拔と言っ、ずっといる方は分かるけれど、新しい方は分からないから、大学とか職場、日本語学校、本当は市役所・区役所の窓口が一番外国人が集まるので、分かりやすく案内もしやすいですが、それでもやはり、家以外で日々時間のいるところ、職場や学校、大学、そういったところで一番分かりやすく、何かツールとして行政の方から出してもらえた方がいいのかなと思います。避難場所も分からず困ってしまいますし、起きた時にはもう遅いので。あの人は外国人で日本語が分からないから死にましたなどと言われたら悔しいですよ。でもそのようになってしまいますから、笑い話にもならないので、絶対にそういった事を避けなければならないです。

コルベイ会長

仰った通り、やはり専業主婦の方、日本人と結婚して全く仕事をしていない方、子供がいない方、ずっと家で生活をする方にとっても、そういう訓練があったら助かると思います。そうでないと、大学を信頼し、もちろんご主人が教えると思うのですが、日本人には当たり前前の事は伝えないですよ、全部自分にとっては当たり前なので。ですから、誰かがそういった専業主婦の方々のためにもやるといいですよ。

上地副会長

専業主婦は地区のものに参加するしかないですね。

コルベイ会長

また時期の問題もあります。防災訓練をする時、例えば3月の時期と新しい人が来る時期とでは全然違いますので、やはり9月に行うのがいいですね。

ディリブ委員

この間磐田では、ゴミは徹底した対策をとっているみたいです。同じように静岡市でも、区役所の方に外国人登録をしに来たら、避難場所等のちょっとした防災情報を教えるのが必要ではないかと思います。今パンフレットやチラシが区役所にも結構置いてありますが、ただ置いておくだけでなく、使う知識として、「何か起きた場合はこのようにしてください」と。絵も入っているので、それを見せながら外国人登録をしに来た時からすれば効果があるとと思います。

朴委員

日本語が分からないのではないですか。

ディリブ委員

通訳がいると思うので。

コルベイ会長

マンガで防災訓練を説明するとか。

ディリブ委員

絵で書かれているものを見せながら、この間の磐田でも絵を見せながらやっていたので、そういった感じでやっていけばいいのではないかと思います。

王川委員

今防災訓練で意識が高まるという話があったのですが、もう1つは、地震が来た時に外国人はどこへ避難するのか、所在を確認するシステムを今考える必要があるのかなと思います。日本人はそれぞれの自治会に確認できますが、外国人はどこにいるのかを確認するシステムをどこまでまとめるか、やはりそういったものがあつた方がいいかなと思います。

上地副会長

でも、避難する時は、外国人・日本人と区別しないので、結局みんな一緒ではないですか。そこで我慢するしない、我慢しなければならぬこととかありますから、そういう事を外国人は訓練に参加しながら考えや意識を高めていかないと。「私は外国人だからやりたい放題」ではいけないのでね。外国人だけの避難所とか。

おうかわいじん
王川委員

外国人避難所ではなくて、「この方は〇〇にいる。」というようなことをどこでまとめる
とか、例えば国際交流協会がまとめるとか、外国人登録窓口がまとめるとか。生存してい
るのかどうかを確認することは、必要があるのかないのか。

こるべいかいちょう
コルベイ会長

それぞれの大使館と静岡市の外国人登録担当が確認し合うのもいいかもしれませんね。
静岡に来たい場合は、その後大使館にその情報がいくかどうか、自分の家族の中にも心配
する方がいると思うので、自分で「今市役所に来ています。」「避難所にいるから大丈夫。」
とか伝えても、大使館が分からないと家族は不明者だと思って1週間とか待ったら心配で
すよね。ですから、大使館としっかり連携があるのかどうか確認する必要があるのかもし
れないです。自分の国に聞いても分からないので、静岡市に、しっかり大使館と連携して
いるかどうかを確認してもらった方がいいと思います。

かみじふくかいちょう
上地副会長

いろいろなサービスがあるから、とりあえず家族だけ安否確認できるようにしたいです。

こるべいかいちょう
コルベイ会長

時間の問題がありますので、他にあと一人、二人でお願いします。

おうかわいじん
王川委員

まだまだありますが、やはり地震や災害に対しての不安がありますので、できる限り何と
かしていききたいという気持ちがあります。

こるべいかいちょう
コルベイ会長

短期の人に来て欲しいので、例えば今自分の国にいる人が静岡に来ただけ不安がある
とか、それらを解決するために住民とかもっと情報がないと、日本語がペラペラな外国人で
も不安があるから、全く日本語が分からない人は、もっともっと不安があると思います。

いじょう
以上